

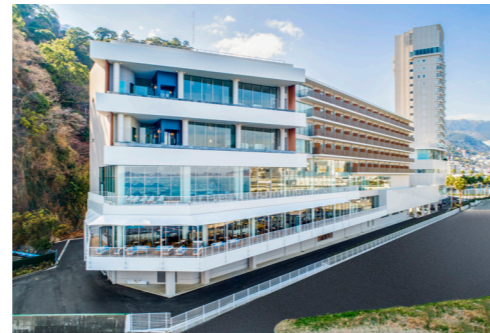


長い時間滞在したくなるスパ施設 —快適な空気環境を支えるモイストプロセッサー—

3階セントラルラウンジ。Fuua Caféのドリンクや軽食も楽しめる

常に空気が心地よい、大型ホテルスパ、ラウンジエリアの誕生

熱海において55年の歴史を持つ「熱海後楽園ホテル」(開業:1965年 運営:東京ドーム・リゾートオペレーションズ)。このホテルの新館として2019年3月末に竣工した「AQUA SQUARE (アクア スクエア)」2~7階に併設されたオーシャンスパ「Fuua」。長期滞在型温浴施設を目指したこの場所の3、4階に、モイストプロセッサーを用いて快適な空気環境が整えられ、室内着でさまざまなくつろぎの時間を楽しめるラウンジエリアが実現した。モイストプロセッサーの特徴である、換気を行いながら夏は除湿、冬は加湿しながら、同時に温度を管理していく空調システムのあり方は、今後「熱海後楽園ホテル」がこのエリアを新たな温泉リゾート地として展開する上での大切な環境づくりを支えている。その内容について、紐解いてみたい。



熱海後楽園ホテル



モイストプロセッサー (サービスヤード内)

滞在型温泉施設 Fuua(フーア)

温浴施設「Fuua」には、スパ、ロウリュ(フィンランドに伝わるサウナ風呂)、岩盤浴、休憩エリア(多様なラウンジ空間)、レストラン & カフェが併設されている。熱海の海に面した露天立ち湯や温泉に入り、岩盤浴などを楽しんだ後、さまざまな場所に設置されたラウンジでゆっくりと時間を過ごすことができる。長時間滞在を楽しめる温浴施設であることから、家族連れなどさまざまな人が日帰り入浴を楽しみにやって来る。



3階のオーシャンラウンジ

温浴施設での快適な滞在に最も大切なのは、入浴後に薄着で動き回っても「湯冷め」、身体が冷えない環境づくりである。どれだけ魅力的な場所でも、温めた身体を保ちながらリラックスできる空気環境がなければ、長時間滞在してゆっくり過ごすことは難しい。

「熱海ベイリゾート後楽園」を運営する東京ドーム・リゾートオペレーションズは、東京・水道橋にて巨大温浴施設「ラクーア」の運営に17年携わってきた。今回「Fuua」は2号店と位置付けられ、「ラクーア」で培ったノウハウが生かされつつ、熱海という場所に適した環境づくりが試みられている。

今回、より快適な館内環境をつくりたいというホテルの要望に応じて導入されたのがダイナエア社の「モイストプロセッサー」だった。その思いを、スパ支配人の萩原慎吾さんにお聞きした。

「今回のこのスパでは、できるだけ長くお客様が滞在でき、リピートしていただける場所づくりを考えました。そのためには、お客様が館内着でも快適に過ごせる温湿度管理が必要があるとの思いに至りました。モイストプロセッサーを使うことで館内は常に安定した空気環境であるため、館内にいらっしゃる人たちが何かを感じる(暑い・寒い・湿度が高い、乾燥しているなど)ことはないと思います。当たり前のように空気が柔らかく、快適なのです。ひとつ感じられるとしたら、花粉症の従業員がモイストプロセッサーの稼働エリアに入るとその症状が出なくなるという点でしょうか。換気を行いつつも空気がきれいである証拠だと思えます。湿度の高い温浴施設に入った後の汗の引き方や体温の保たれ方はとても重要です。お客様から何のご意見もなく開業から約1年運営できていることは、とても素晴らしい状況と考えています」。



スパ支配人 萩原慎吾さん

—実際に、温度湿度を測ってみました—

2階エントランス



冷暖房のみの設置
温度 24.5°C、湿度 66%
少し蒸し蒸しする状態

2階テラス(外部)



曇り時々雨
温度 26.1°C、湿度 76%
雨もぱらつき、ジトッと蒸し暑い

3階セントラルラウンジ



モイストプロセッサー設置
温度 24.5°C、湿度 51%
春先の気候のようにすっきりした空気

モイストプロセッサーが稼働する3、4階は、気温 25°C 前後、湿度 50% 前後に常時保たれている。エアコンの設置のみでは実現できない安定した空気環境がつけられる



新たな温浴施設を安定した空気環境で支える

「温浴施設「Fuua」は、昨年2019年3月に開業し、コロナ禍となる前は平日で約500名、土日は約1,000名の方にご来館いただいていた。今はこの状況の中で感染対策を万全に行いつつ、平日は約150名程度、土日で400名ほどのお客様がいらしてくださっています。利用者の3割がお泊りのお客様で、あとの7割が日帰り温泉の利用です。今後「熱海後楽園ホテル」を含めたこのエリアは、「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」という熱海の観光地のひとつとして少しずつ定着させていけたらと考えています。気持ちよい空気の感覚は、いらしていただき初めてお伝えすることができるので、万全な温度・湿度管理をモイストプロセッサで行いながら、居心地よい場所づくりに努めます」。

温泉と共に、多様に楽しめる居場所の空気環境づくりに貢献している「モイストプロセッサ」。無意識に身体がノンストレスとなることによって、リラックス・リフレッシュする時間が充実していく。日帰りでも訪れることができ、リゾート感覚で滞在できる温浴施設。人びとはすでに、新たな旅のかたちを楽しんでいる。
(取材：リトルメディア 中村光恵)



2階商業エリア IZU-ICHI (イズイチ)



2階レストラン



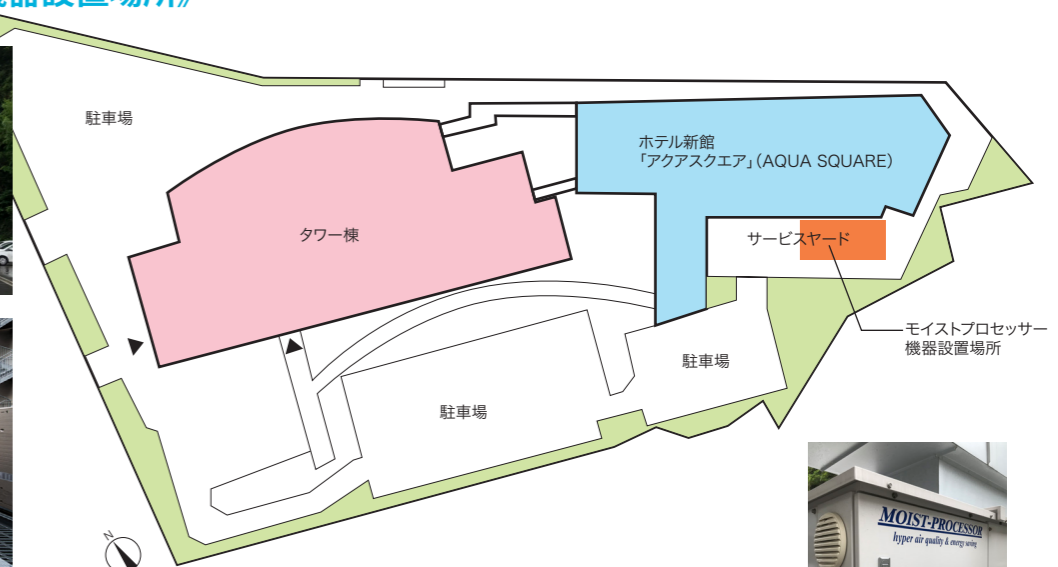
7階スパ

オーシャンスパ「Fuua」。中3階の海に面した開放的なラウンジ



熱海後楽園ホテル 設置 DATA

《モイストプロセッサ機器設置場所》



《設置機器情報》

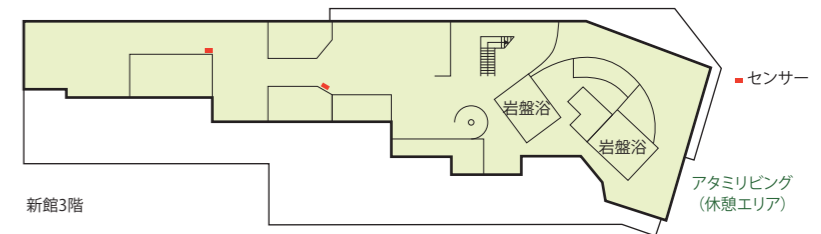
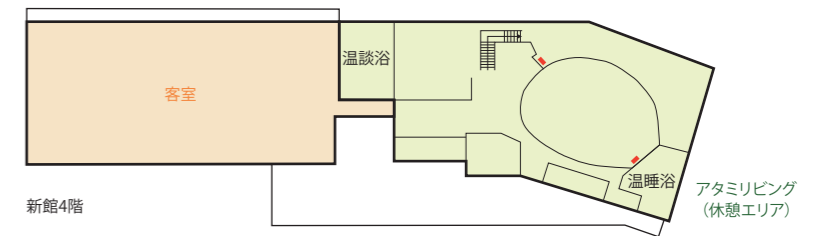
モイストプロセッサ対象階：3階・4階

型番：MP9000HPGT (風量 9000CMH タイプ)

設置機器の仕様 (重塩害対策仕様)

センサー 館内4箇所設置 (右図参照)

※制御は専用アプリケーションを用いてダイナエア社により管理されている。



熱海後楽園ホテル

1965年 複合型リゾート施設「熱海後楽園」として開業 (1996年時には客室235室と大宴会場を併設)

2016年 ホテル、スパ、フードマーケットを併設した複合型リゾート「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」の開発プロジェクト開始

2019年3月 オーシャンスパ「Fuua」を併設した新館「AQUA SQUARE (アクアスクエア)」が開業

「AQUA SQUARE (アクアスクエア)」工事概要

設計/竹中工務店東京一級建築士事務所

施工/竹中工務店 横浜支店

工事期間/2017年7月~2019年2月

用途/ホテル・温浴施設



センサー



吹き出し口

